

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公表番号】特表 2006-526322(P2006-526322A)  
 【公表日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-045  
 【出願番号】特願 2006-506593(P2006-506593)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 Q 1/24 (2006.01)**

**H 0 1 Q 1/38 (2006.01)**

**H 0 1 Q 21/30 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 Q 1/24 Z

H 0 1 Q 1/38

H 0 1 Q 21/30

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 19 日 (2007.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置のハウジングに組み込まれるアンテナであって、  
 少なくとも 1 つの基板と、  
 少なくとも 1 つの共振プリント導体基板と、  
 少なくとも 1 つの第 1 の接続ピンおよび少なくとも 1 つの第 2 の接続ピンと、  
 を有し、前記第 1 の接続ピンが地電位に接続されており、前記第 2 の接続ピンがプリント回路基板に高周波の給電をなすために設けられている  
 アンテナ。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の接続ピンが接点を介してそれぞれのプリント導体基板に接続されることを特徴とする請求項 1 に記載のアンテナ。

【請求項 3】

前記第 1 の接続ピンが第 1 の接点を介して第 1 の共振プリント導体基板に接続され、前記第 1 の共振プリント導体基板の長さが第 1 の周波数帯域に調整されることを特徴とする請求項 1 に記載のアンテナ。

【請求項 4】

前記アンテナが前記プリント回路基板と接していない別のプリント導体基板を有することを特徴とする請求項 1 に記載のアンテナ。

【請求項 5】

前記接続ピンがスプリングピンの形であることを特徴とする請求項 1 に記載のアンテナ。

【請求項 6】

少なくとも 1 つの基板と、

少なくとも 1 つの共振プリント導体基板と、

少なくとも 1 つの第 1 の接続ピンおよび少なくとも 1 つの第 2 の接続ピンと、

を有し、前記第 1 の接続ピンが地電位に接続されており、前記第 2 の接続ピンが高周波の給電をなすために設けられている

第 1 のアンテナがそのハウジングに組み込まれている装置。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの第 1 のアンテナおよび少なくとも 1 つの第 2 のアンテナが送信または受信のために前記ハウジングに設けられていることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記第 1 および第 2 のアンテナが互いに別々に駆動されることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記第 1 のアンテナおよび前記第 2 のアンテナによる接触が前記プリント回路基板の 2 つの異なる側で行われることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記第 1 のアンテナおよび / または前記第 2 のアンテナがパッシブ共振基板の形で備えられることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のアンテナを有する、特に電子部品の表面実装のためのプリント回路基板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

【図 1】装置のハウジングに組み込まれた第 1 のアンテナを示す図である。

【図 2】2 つの誘電ブロックアンテナ (DBA) を含む、いわゆるダイバシティアンテナサブモジュールを示す図である。

【図 3】アンテナの第 1 の実施形態の  $S_{11}$  パラメータがたどる曲線を示す図である。

【図 4】アンテナの第 2 の実施形態の  $S_{11}$  パラメータがたどる曲線を示す図である。

【図 5】ダイバシティアンテナサブモジュールのアンテナ間で測定されたアイソレーションを示す図である。